

安全データシート

(Safety data sheet)

【SDS No.】 HIKARIW 作成：2011年6月15日 改正：2022年12月21日

1. 化学品及び会社情報

製品名 : ウエル・ハンダ ひかり
会社名 : 日本ウエルディング・ロッド株式会社
住所 : 静岡県浜松市浜北区中瀬 7800
担当部門 : 品質保証部
電話番号 : 053-588-7232
Fax 番号 : 053-588-7234

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

健康有害性

目に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2B
呼吸器感作性	区分 1
皮膚感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	区分 2
発がん性	区分 2
生殖毒性	区分 1A
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 1 (呼吸器、腎臓)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 1 (肺、造血系、腎臓、中枢神経系、末梢神経系、心血管系、免疫系、呼吸器)

環境有害性

水生環境有害性 長期 (慢性) 区分 4

*記載がないものは分類対象外または分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害情報

- ・眼刺激。
- ・吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ。
- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
- ・遺伝性疾患のおそれの疑い。
- ・発がんのおそれの疑い。
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれ。
- ・呼吸器、腎臓の障害。
- ・長期または反復暴露による肺、造血系、腎臓、中枢神経系、末梢神経系、心血管系、免疫系、呼吸器の障害。
- ・長期的影響により水生生物に有害のおそれ。

注意書き

安全対策

- ・はんだ付け用途以外に使用しないこと。
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

- ・粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・取扱後は手を洗うこと。
- ・適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面、保護マスクなどを着用する。
- ・環境への放出を避けること。

応急措置

- ・気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。
- ・吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休ませること。
- ・呼吸に関する症状が出た場合は、医師に連絡すること。
- ・眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- ・取扱い後、手を洗うこと。
- ・ばく露またはばく露の懸念がある場合は、医師の診断、手当を受けること。
- ・汚染された衣類を再使用する場合には、洗濯すること。
- ・漏出物は回収すること。

保管

- ・直射日光を避け、換気の良い乾燥した冷暗所に施錠して保管する。

廃棄

- ・内容物、容器を国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学品名又は一般名：はんだ (SnPbNiAg)

成分及び含有量	物質名	含有量(%)	CAS No
	錫 (Sn)	65.0 ~ 75.0	7440-31-5
	鉛 (Pb)	残部	7439-92-1
	ニッケル (Ni)	<1.0	7440-02-0
	銀 (Ag)	<1.0	7440-22-4

官報公示整理番号：－

4. 応急措置

眼に入った場合：直ぐに多量の流水で数分間気を付けて洗浄する。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄は続ける。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当を受けること。

皮膚に付着した場合

：溶融状態では、皮膚に触れれば火傷を負うので、一般の火傷の手当てにより処置する。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当を受けること。

吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し、呼吸のしやすい姿勢で休息させること。気分が悪い場合、呼吸に関する症状が出た場合は医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合：直ちに口をすすぐこと。
気分が悪いときは、医師の診断、手当を受けること。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

：救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：泡、粉末、乾燥砂、炭酸ガス

使ってはならない消火剤

: 水、ハロゲン消火剤

火災時の特有の危険有害性

: 火災により刺激性または有害なガス/ヒュームを発生するおそれがある。

特有の消化方法 : 消火作業は風上から行う。

: 現場状況と周囲の環境に適した消化方法を行うこと。

消化を行う者の特別な保護具及び予防措置

: 眼や皮膚を保護する耐熱性防護服を着用し、必要に応じ呼吸用保護具を使用する。

6. 漏出時の処置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置

: 屋内の場合、処理が終了するまで十分に換気を行う。すべての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。

: 漏出時の処理を行う際には、必ず保護手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する。

環境に対する注意事項

: 環境中（水域、土壌）への放出をしてはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

: 危険でなければ漏れを止め、飛散したものを掃き集めて、容器に回収する。

二次災害の防止策 : 環境規制に従って、汚染された物体及び場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : はんだ付け作業には、局所排気装置を使用すること。

安全取扱注意事項

: はんだ付け作業中は、皮膚、眼、衣服との接触を避ける。

保護具を着用すること。

ヒュームの吸入を避けること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

環境への放出を避けること。

接触回避 : 「10.安全性及び反応性」を参照。

衛生対策 : 作業終了時及び食事前にはうがい、手洗いを充分に行うこと。

保管

安全な保管条件

: 直射日光を避け、換気の良い乾燥した冷暗所に施錠して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 : ACGIH TWA Sn 2.0mg/m³

Pb 0.05mg/m³

Ni 1.5mg/m³

Ag 0.1mg/m³

設備対策 : 局所排気装置を用いる。

保護具 : 必要に応じて適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護マスクなどを用いる。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体

色 : 銀白色

臭い	: 無臭
比重	: 約 8.4
融点/凝固点	: 液相温度 190 °C 固相温度 183 °C
沸点又は初留点及び沸点範囲	: データなし
可燃性	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
爆発下限及び爆発上限限界/可燃限界	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
蒸気圧	: データなし
溶解性	: 水に不溶
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 空气中で徐々に酸化される。
化学的安定性	: 通常条件下で安定である。
危険有害性反応可能性	: 通常の処理ではなし。
避けるべき条件	: 酸化剤との接触。高温と直射日光
混触危険物質	: 酸、酸化剤
危険有害な分解生成物	: 火災時の加熱によって危険なヒュームを生じる。
その他	: 基本的には安定物質であるが、はんだ付け作業において、はんだ溶融時に水分を伴う物質が触れると、瞬間的に気化しはんだが飛散する。飛散したはんだを眼に入れぬ様に注意する。溶融したはんだに触れると火傷を負うので注意する。

11. 有害性情報

急性毒性 経口	: 分類できない ラット LD ₅₀ >700mg/kg (Sn) ラット LD ₅₀ >9000mg/kg (Ni) ラット LD ₅₀ >5,000mg/kg (Ag)
経皮	: 分類できない
吸入: ガス	: GHS 定義の固体であり、区分に該当しない。
吸入: 蒸気	: 分類できない
吸入: 粉じん及びミスト	: 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない
目に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 眼に対して刺激がある。(区分 2B)
呼吸器感受性	: 吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起す恐れ。(区分 1)
皮膚感受性	: アレルギー性皮膚反応を起すおそれ。(区分 1)
生殖細胞変異原性	: 鉛そのものに染色体異常/小核誘発作用があるとの記述がある。(区分 2)
発がん性	: 発がんのおそれの疑い。(区分 2)
生殖毒性	: 生殖能または胎児への悪影響のおそれ。(区分 1A)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 呼吸器、腎臓の障害。(区分 1)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 長期または反復ばく露による肺、造血系、腎臓、

中枢神経系、末梢神経系、心血管系、免疫系、呼吸器、眼の障害。(区分 1)

誤えん有害性 : 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

水性環境有害性 短期 (急性) : 分類できない

水性環境有害性 長期 (慢性) : 長期的影響により水生生物に有害のおそれ。
(区分 4)

残留性・分解性 : 分類できない

生体蓄積性 : 分類できない

土壌中の移動性 : 分類できない

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

環境汚染防止の観点から、廃棄にあたっては、地方自治体の許可を受けた産業廃棄物処理業者に依頼するか、納入業者に相談して、適正に処置すること。

14. 輸送上の注意

国際規制 国連番号 : 該当しない

海洋汚染物質 : 該当しない

国内規制 海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

陸上規制情報 : 道路法の規定に従う。

特別安全対策

運搬に際しては、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にする。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 施行令第 18 条名称等を通知すべき危険物および有害物質
すず及びその化合物

鉛及び無機化合物

ニッケル及びその化合物

銀及びその水溶性化合物

: 鉛中毒予防規則第 1 条の 1

化学物質管理促進法 : 第 1 種指定化学物質

鉛

ニッケル

銀及びその水溶性化合物

大気汚染防止法 : 施行令第 1 条有害物質

鉛及びその化合物

水質汚濁防止法 : 施行令第 2 条有害物質

鉛及びその化合物

施行令第 2 条指定物質

ニッケル及びその化合物

土壌汚染対策法 : 施行令第 2 条特定有害物質

鉛及びその化合物

下水道法 : 施行令第 9 条の 4

鉛及びその化合物

16. その他情報

参考文献

JIS Z 7252 2019 : GHS に基づく分類法

JIS Z 7253 2019 : GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、
作業所内の表示および安全データシート(SDS)

化学物質管理促進法対象物質データ 化学工業日報社 編

14303 の化学商品 化学工業日報社 編

※ 危険性・有毒性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。